

08 寄り添い支え続けるホームレス支援（ホームレス）

（ナレーター）皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、栗原類がお届けします。今日のタイトルは「寄り添い支え続けるホームレス支援」です。

福岡市にあるNPO法人「ホームレス支援福岡おにぎりの会」は、市内で路上生活をしているホームレス状態の人たちを支援する団体です。事務局員の木戸勝也さんは、ボランティアと共路上で寝泊まりする人たちに声をかけ、食料品や衣類を届ける夜回り活動をしています。

【木戸さん役】ホームレスの人の中には、夜に暴力被害に合うことを避けるため、昼夜逆転した生活を送っている人もいます。夜回り活動の目的は、物を配ることではなく、人間同士のコミュニケーションを取ること。いざというときに頼ってもらえる存在になることを目指しています。

（ナレーター）ボランティアスタッフの中には、以前、路上生活を送っていた人もいます。炊き出しや夜回り活動に参加する中村さんも、その一人です。

【中村さん役】会社が倒産して再就職もできず、頼れる人も

25 いなくて経済的に行き詰まりました。当時は突然の出来事にパニック状態になり、誰にも連絡できないまま気が付けば4年間ホームレスでした。

30 (ナレーター) ボランティアの訪問を何度も受けるうちに思い切って支援を受けてみようと考えようになつた中村さん。現在は生活保護を受けてアパートに住み、ボランティア活動や短時間の仕事で少しずつ人との関わりを取り戻しています。

35 木戸さんは、路上生活を抜け出した人たちに対しても、自宅訪問や交流など見守り活動を続けています。

40 【木戸さん役】住む場所ができて、人との接し方や生活習慣を変えられずに苦労する人は多いです。また、長年の路上生活でのストレスにより記憶障害や認知症のような症状を発生している人もいます。そんなときでも手助けをして、「あなた一人ではない」と誰かが伝え続けなくてはならないと思います。ホームレスの人たちが抱える問題は専門家を頼れば解決の糸口を見つけれられるのですが、相談や複雑な手続きをするのは長い坂道を上がるようなもの。彼らの荷物を半分持つのが、私たち「おにぎりの会」の役目だと思っています。

45 経済的な問題や病気、家族の問題などのきつかけが重なれば、誰でもホームレスになる可能性があります。私たちは、地域社会の一員として、これからも、住まいを失っても必死

で生きようとしている人たちに寄り添い、支え続けます。

(本文973字)